すかい

地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2019 令和元年 5-25 No.561

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート

千曲市　森将軍塚古墳
科野(しなの)の里歴史公園

「屋根より　高い　こいのぼり」……昨今の住宅事情から、市街地でこの歌のような光景を見かけるのは、難しい時代となりました。
　端午の節句に、こいのぼりを揚げる風習は、江戸時代に始まったそうですが、縄文時代の竪穴式住居にしっくりくるのはどうしてでしょう。茅葺(かやぶき)屋根との組み合わせが、原風景として日本人にインプットされているからでしょうか。

■ 長野しんきん 月例調査レポート ……2
■ 企業アンケート 外国人雇用 ② ……6
■ インタビュー 変革期の経営ビジョン ……8
■ 北信濃　江戸時代の風景 (57) 石堂 ……10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます 長野信用金庫について

長野信用金庫

概　況　全産業

生産は2カ月ぶりの上昇
前年同月比は2カ月連続の低下

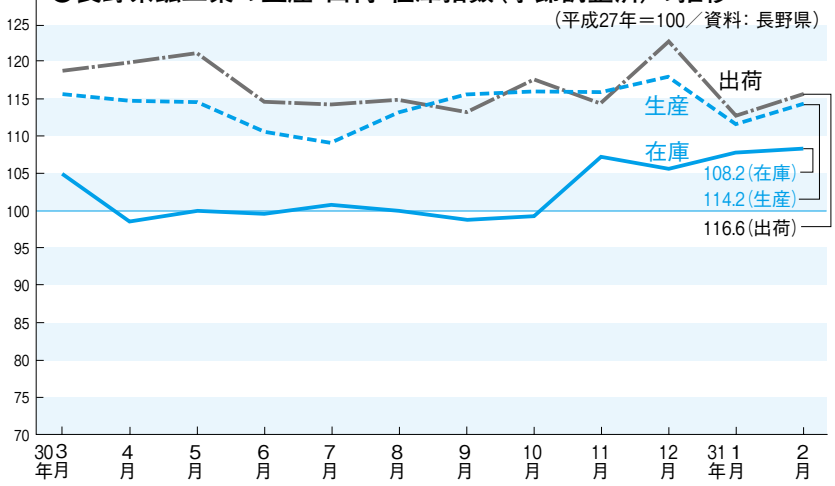
◇31年２月の長野県鉱工業指数
（速報：季節調整済指数）

生産は114.2（前月比＋2.2％）で２カ月ぶりの上昇、出荷は116.6（同＋3.4％）で２カ月ぶりの上昇、在庫は108.2（同＋0.5％）で２カ月連続の上昇となりました。

◇前年同月比（原指数）

生産は109.9（前年同月比▲1.0％）で２カ月連続の低下、出荷は112.4（同▲1.5％）で２カ月連続の低下、在庫は109.0（同＋0.4％）で２カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数（季節調整済）の推移



［生産］上昇…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、食料品など10業種
低下…その他、情報通信機械、木材・木製品など７業種

［出荷］上昇…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、電気機械など11業種
低下…その他、情報通信機械、食料品など５業種

［在庫］上昇…はん用・生産用・業務用機械、その他、電子部品・デバイスなど8業種
低下…電気機械、プラスチック製品、窯業・土石製品など８業種

月例調査　全産業の「売上高」は横ばい

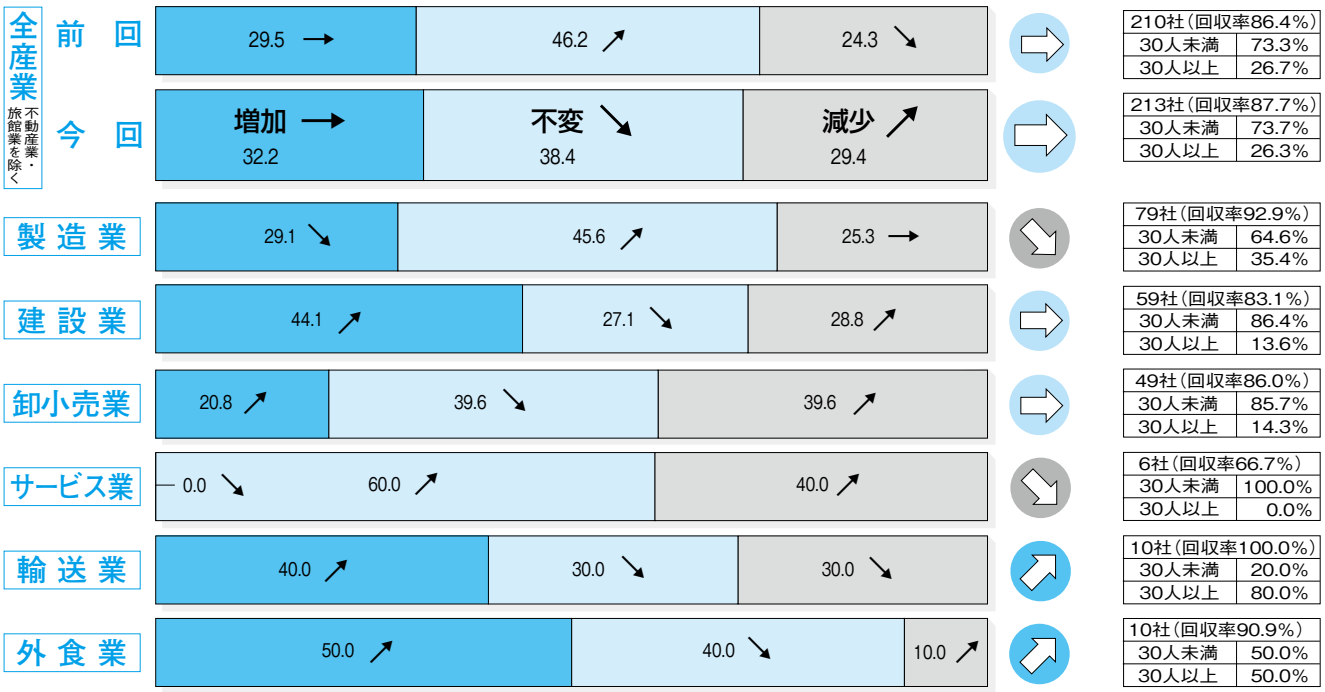
前回調査　平成31年2月

◇４月調査による［北信地区の経済状況］

全産業（不動産業・旅館業除く）の**売上高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（32％）が３ポイント上昇、「減少」割合（29％）が５ポイント増加、「不変」割合（38％）が８ポイント減少、全体としては横ばいの状況です。

●売上高〈生産高・施工高〉前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比（3ポイント以上の動き）　↗増加　→不変　↘減少　改善　不変　悪化

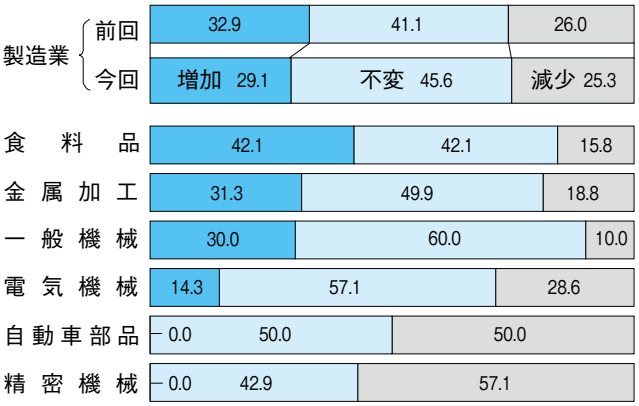


製造業　食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」金属加工・自動車部品が増加するも、全体は減少

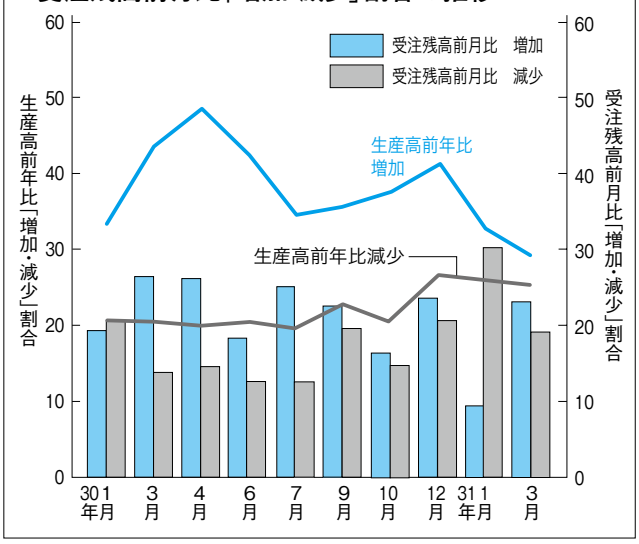
製造業の**生産高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（29%）が4ポイント減少、「減少」割合（25%）が1ポイント減少、「不変」割合（46%）が5ポイント増加し、全体としては減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合（%）



[業種別]	増　加…金属加工・自動車部品
	減　少…食料品・一般機械・電気機械・精密機械
[機械稼働]	（前回比）稼働率　上昇
	上昇割合　（10%）→ 23%
	下降割合　（23%）→ 15%
[受注状況]	受注量（前回比）増加
	増加割合　（10%）→ 23%
	減少割合　（30%）→ 19%
	受注残高（1.7カ月）→ 1.6カ月
[受注基調]	（前回比）上昇
	上昇割合　（12%）→ 22%
	下降割合　（27%）→ 17%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移（%／資料:当金庫）



企業からのコメント

★4月からの一部製品値上げの販売動向が心配。材料・資材・物流費など値上げが続いている。（味噌製品）

☆景気は弱含みと感じるが、そばの単品は、やや不景気の方が売れる傾向にある。（そば製品）

★☆半導体関係の落ち込みが大きい。工作機械は報道とは若干違って、安定している。（産業機械）

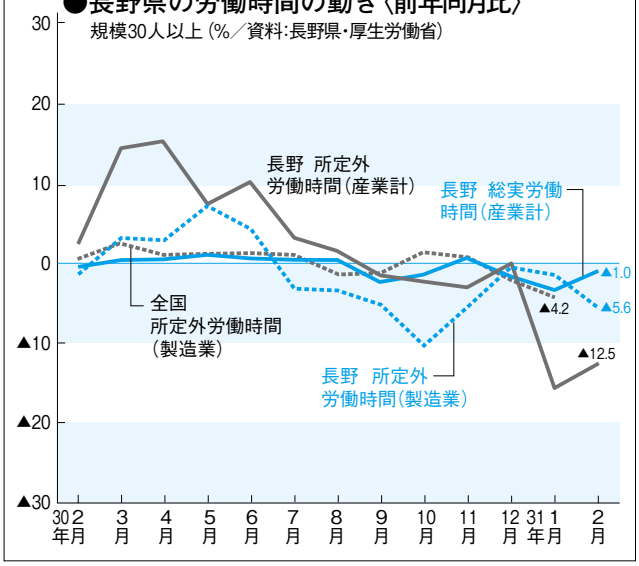
☆3月から自動車部品関連を“増産”で受注。減産の恐れはなくなった。（自動車部品）

★米中貿易摩擦の影響で受注が減少。計画が半年ほどズレ込んでいる。夏以降に期待。（液晶関連装置）

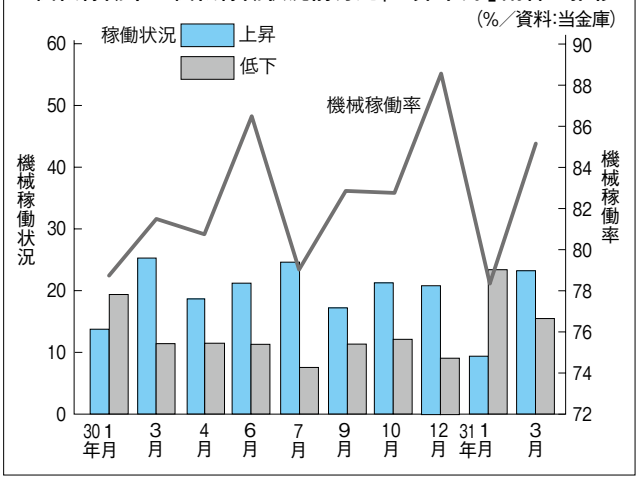
★☆事業環境が目紛（めまぐる）しい中、現実から目をそらさず、先取りのスタンスを維持していきたい。（電子基盤）

★☆当月の受注はやや減少。電子部品の輸出に衰えはあるが、国内需要で支えられている。（電子機器組立）

●長野県の労働時間の動き〈前年同月比〉



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移



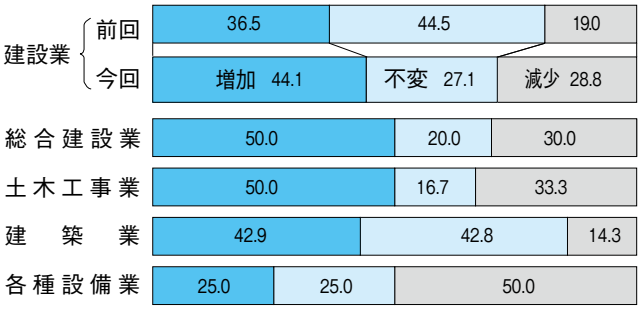
建 設 業　総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設・土木工事は増加したが、全体は横ばい

概　　況

建設業の**施工高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（44％）が８ポイント増加、「減少」割合（29％）が10ポイント増加、「不変」割合（27％）が17ポイント減少となり、全体としては横ばいの状況です。

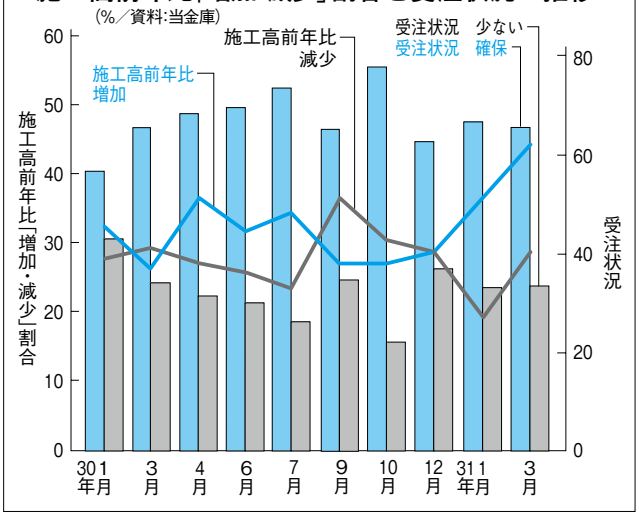
●施工高前年比「増加・減少」割合（%）



［業 種 別］　増　加…総合建設・土木工事
　　減　少…建築・各種設備

［受注状況］　受注残高（前回比）　横ばい
　　「多い・適正」割合　（67％）　→ 66％
　　「少ない」割合　　（33％）　→ 35％

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

★先行き不透明な中国経済の影響で、止む無く設備計画を中止にした企業が現れた。　（総合建設）

★☆ハイテンションボルトの品薄がさらに悪化。前半は仕事量が少なく後半は多い見込み。（鉄骨鉄筋工事）

☆★手持ち受注残はあるものの、10月以降の県内物件は例年に比べかなり少ない。今後は首都圏・北陸方面を中心に受注活動を実施したい。　（内装工事）

４～３月の公共工事（東日本建設業保証取扱分）

長野県の４～３月の発注合計は、1656.9億円（前年同期比▲13.4％）となりました。前年比プラスは「国」の293.3億円（同0.3％）、「県」の456.2億円（同2.4％）で、マイナスは「市町村」の597.7億円（▲6.3％）、「そのほか」の308.5億円（同▲40.9％）です。

北信地区市町村の発注合計は208.7億円（同▲11.4％）で、うち長野市は87.0億円（同▲29.8％）でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況（平成31年3月/30年4月～31年3月累計）

（単位＝百万円／資料：東日本建設業保証㈱）

		31年3月	前年同月比	30年４月～31年3月	前年同期比
長野県	国	1,298	3.5%	29,326	0.3%
	県	4,507	▲14.6%	45,623	2.4%
	市町村	3,158	77.2%	59,773	▲6.3%
	そのほか	800	▲44.6%	30,851	▲40.9%
	合　計	9,764	▲11.9%	165,686	▲13.4%
北信	市町村	424	▲10.7%	20,872	▲11.4%
	（内長野市）	372	▲7.0%	8,700	▲29.8%

４～3月の新設住宅着工戸数

長野県の４～３月の新設住宅着工戸数は12,386戸（前年同月比＋3.0％）でした。持家が6,946戸（同＋4.5％）、貸家が3,527戸（同▲4.7％）、分譲が1,749戸（同＋7.4％）、給与が146戸（421.4％）です。

北信地区の４～３月の新設住宅着工戸数は3,552戸（同＋4.0％）でした。持家が1,866戸（同▲0.7％）、貸家が995戸（同▲10.6％）、分譲が635戸（同＋51.6％）、給与が56戸（同＋833.3％）です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数（平成31年3月/30年4月～31年3月累計）　（資料:長野県）

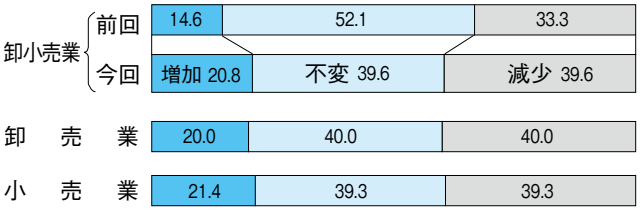
		持　家	貸　家	分　譲	給　与	合　計
北信地区	3月	140戸	119戸	81戸	0戸	340戸
	（内長野市）	89戸	119戸	75戸	0戸	283戸
	前年同月比	11.1%	260.6%	179.3%	——	80.9%
	（内長野市）	▲3.3%	340.7%	341.2%	——	108.1%
	4～3月	1,866戸	995戸	635戸	56戸	3,552戸
	前年同期比	▲0.7%	▲10.6%	51.6%	833.3%	4.0%
長野県	3月	489戸	192戸	235戸	72戸	988戸
	前年同月比	5.4%	▲27.3%	17.5%	——	6.5%
	4～3月	6,946戸	3,527戸	1,749戸	146戸	12,386戸
	前年同期比	4.5%	▲4.7%	7.4%	421.4%	3.0%

卸小売業　卸売業、小売業

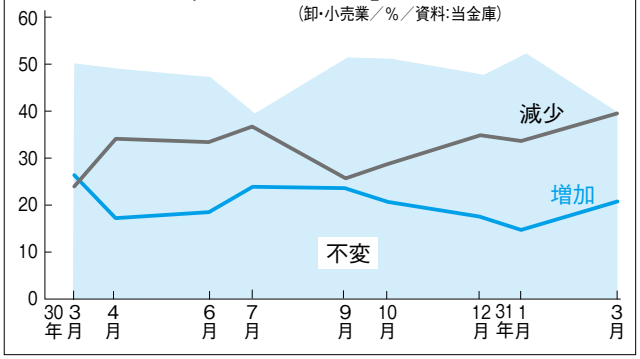
「売上高」小売は増加したが、全体は横ばい

卸小売業の**売上高**前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（21％）が６ポイント増加、「減少」割合（40％）が６ポイント減少、「不変」割合（40％）が13ポイント減少し、全体として売上は横ばいの状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合（％）



●売上高前年比「増加・不変・減少」割合の推移



［業 種 別］　増加…小売業　減少…卸売業

３月の消費者物価指数（長野市）　平成27年基準＝100

◇総合指数（確報値）……102.2（30カ月連続のプラス）
（前月比＋0.1％、前年同月比＋1.0％）
上昇…「被服及び履物」「光熱・水道」「交通・通信」
下落…「教養娯楽」「家具・家事用品」

◇生鮮食品を除く総合指数…102.1（27カ月連続のプラス）
（前月比＋0.1％、前年同月比＋1.2％）

企業からのコメント

☆10月の消費税増税を見越してなのか、高額のスポーツ用品の売上が好調。（スポーツ用品小売）
★暖かい季節の到来とともに、客の動きが少しずつ活発になってきている。（家電製品小売）
★ライフスタイルの変化が、日本人の付き合いのかたちをどう変えるのかをつかみたい。（和洋菓子小売）
★大手格安スーパーの台頭が著しく、地元の生鮮スーパーは厳しい状況である。（生鮮食料品スーパー）
★団体客が例年より多く確保されており、売上は増加している。（土産・そば店）

サービス業　サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」輸送・外食は増加、サービスは減少

サービス業　売上高前年比「増加」割合は50ポイント減少の０％、「減少」割合は23ポイント増加の40％、「不変」割合は27ポイント増加の60％と、売上は減少しています。

輸送業　売上高前年比「増加」割合は18ポイント増加の40％、「減少」割合は３ポイント減少の30％、「不変」割合は15ポイント減少の30％と、売上は増加の状況です。タクシー、運送ともに増加しています。

外食業　売上高前年比「増加」割合は23ポイント増加の50％、「減少」割合は10ポイント増加の10％、「不変」割合は33ポイント減少の40％と、売上は増加しています。

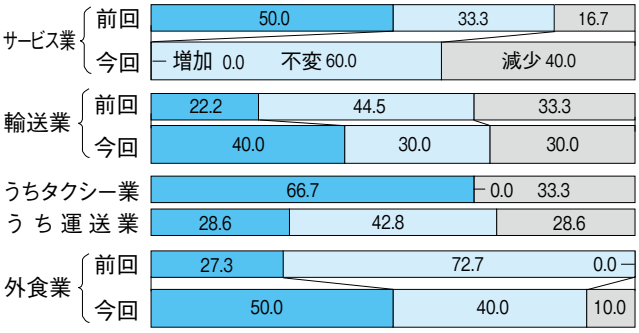
観光（旅館）業　入込数は平均で前月比２ポイントの減少、前年同月比は２ポイント増加で、宿泊利用は横ばいの状況です。

不動産業　需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は９ポイント減少の46％、「引合いやや増加」は10ポイント増加の46％でした。

企業からのコメント

☆★10月に運賃を値上げすることに決定した。
★今年の歓送迎会の需要は低調だった。（以上タクシー）
☆戸隠でも、最近は外国人観光客がそばを注文する光景が増えてきている。（飲食店）
★人手不足でアルバイトの時給が上昇。人件費の増加は経費面での影響が大きい。（ファーストフード）
★一般個人・グループともに減少。３月の志賀高原は人影がめっきり減った。（宿泊）

●売上高前年比「増加・減少」割合（％）



企業アンケート　外国人雇用 ②　31年3月調査

「工場等の製造現場」52%　「販売･飲食等の接客」22%
「建設業等の作業現場」17%　「宿泊･介護等の現場」13%

外国人が従事している職種　50%強の「工場等の製造現場」をはじめ、「販売・飲食等の接客」「建設業等の作業現場」「宿泊・介護等の現場」が２ケタとなりました。

外国人雇用での苦労　「能力・意欲の判定が困難」をはじめ、「在留資格や社会保障等の加入手続きが煩雑」「文化・商慣習の相違」が３割台、「社内教育・研修制度等に手間がかかる」が２割台、「生活支援に手間がかかる」が１割台となっています。

外国人が従事している職種

30人未満「販売･飲食等の接客」27%
30人以上「工場等の製造現場」58%

「**外国人が従事している職種**」を聞きました。

最も高いのは５割強を占める「工場等の製造現場」(52%)で、次に「販売・飲食等の接客」(22%)、「建設業等の作業現場」(17%)、「宿泊・介護等の現場」(13%)が２ケタとなりました。

従業員規模で比べると、30人未満では「販売・飲食等の接客」と「宿泊・介護等の現場」が10ポイントほど30人以上より高く、30人以上では「工場等の製造現場」が13ポイント、「事務職・総合職」と「その他」で30人未満より８ポイント高くなっています。

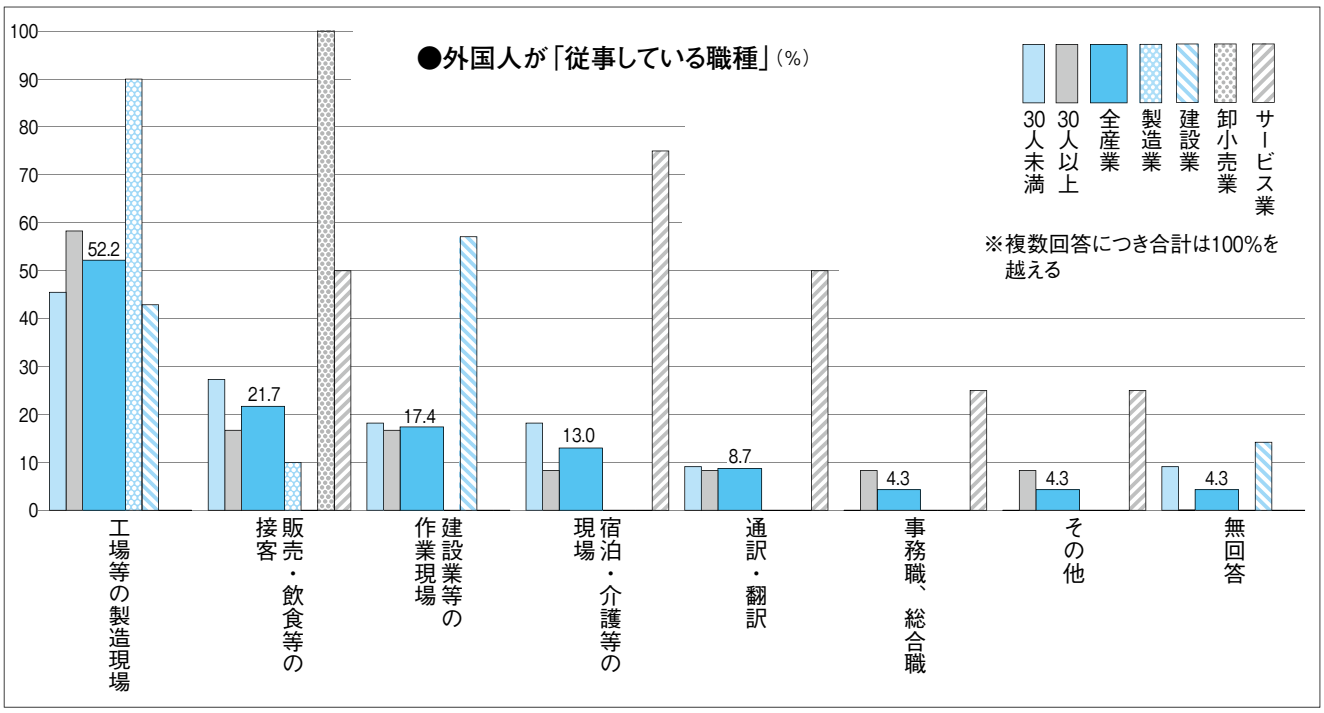
業種別

製造業「工場等の製造工程」90%
建設業「作業現場」57%
サービス業「宿泊･介護等」75%

製造業　「工場等の製造現場」(90%)と「販売・飲食等の接客」(10%)の２項目のみで、他はすべて０%でした。「工場等の製造現場」は他業種に比べ最も高くなっています。

建設業　「建設業等の作業現場」(57%)と「工場等の製造現場」(43%)の２項目で、他は０%と無回答でした。「建設業等の作業現場」は他業種に比べ最も高くなっています。

卸小売業　「販売・飲食等の接客」(100%)で占められ、他は０%でした。「販売・飲食等の接客」は他業種に比べ最も高くなっています。



サービス業　「宿泊・介護等の現場」(75%)、「販売・飲食等の接客」(50%)、「通訳・翻訳」(50%)、「事務職・総合職」(25%)、「その他」(25%)と幅広い職種となりました。「宿泊・介護等の現場」「通訳・翻訳」「事務職・総合職」「その他」は他業種に比べ最も高くなっています。

外国人雇用で苦労する点

「能力･意欲の判定が困難」35%
「在留資格や社会保障等が煩雑」30%
「文化･商慣習の相違」30%
「社内教育･研修制度等の手間」26%

「**外国人雇用で苦労する点**」を聞きました。

３割台に、「能力･意欲の判定が困難」(35%)、「在留資格や社会保障の手続きが煩雑」(30%)、「文化･商慣習の相違」(30%)、そして「社内教育・研修制度等に手間がかかる」(26%)、「生活支援(住居・教育)に手間がかかる」(13%)が２ケタとなっています。

従業員規模で比べると、30人未満では「在留資格や社会保障の手続き」が29ポイント、30人以上より高く、30人以上では「社内教育・研修制度」が15ポイント、「生活支援に手間がかかる」が８ポイント、「文化・商慣習の相違」が６ポイント、30人未満より高くなっています。

業種別

製造業「在留資格や社会保障の手続き」40%
建設業「離職率が高い」14%
卸小売業「能力･意欲の判定が困難」50%
サービス業「文化･商慣習の相違」50%

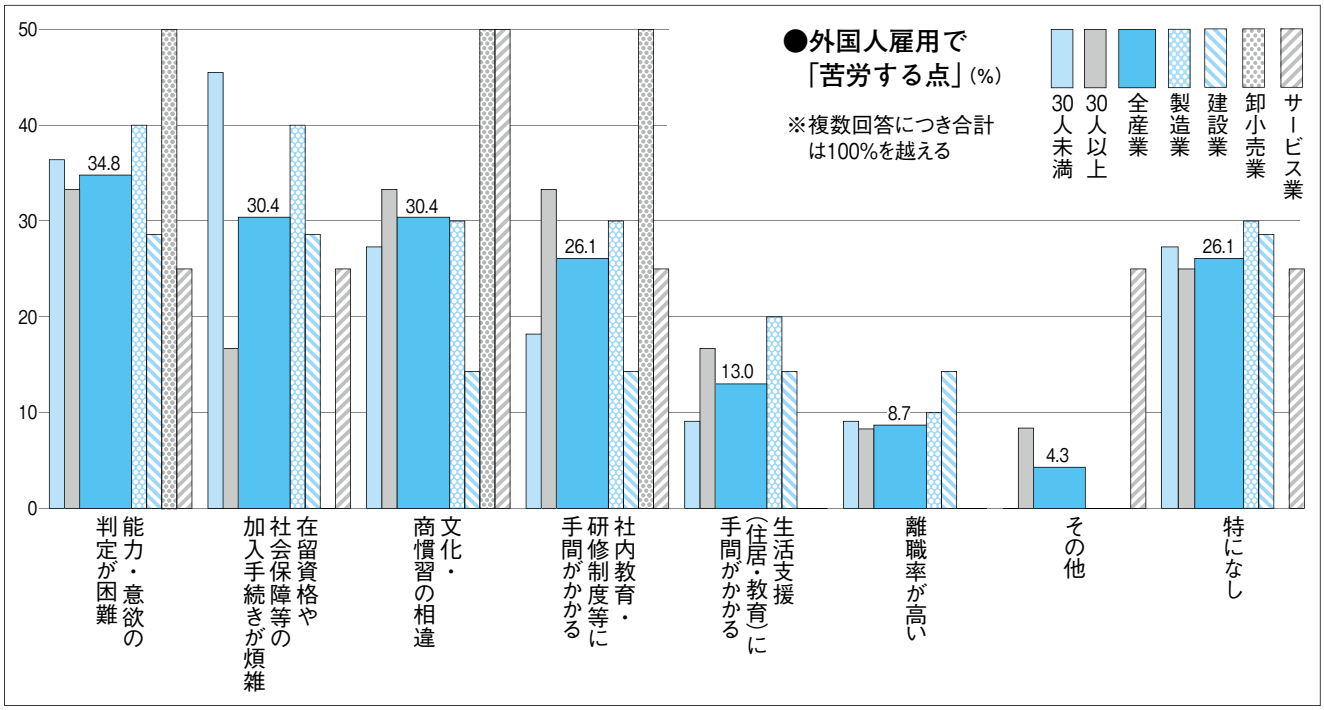
製造業　「在留資格や社会保障の手続き」(40%)、「生活支援に手間がかかる」(20%)、「特になし」(30%)が他業種に比べ最も高くなりました。

建設業　「離職率が高い」(14%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「社内教育・研修制度」(14%)、「文化・商慣習の相違」(14%)は他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業　「能力･意欲の判定が困難」(50%)、「社内教育・研修制度」(50%)、「文化・商慣習の相違」(50%)が他業種に比べ最も高くなりました。「在留資格や社会保障の手続き」「離職率が高い」「生活支援に手間がかかる」「特になし」は０%でした。

サービス業　「文化・商慣習の相違」(50%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方「能力・意欲の判定が困難」(25%)は他業種に比べ最も低くなっています。「離職率が高い」と「生活支援に手間がかかる」は０%でした。運送の「その他」には「仲介業者への支払いコストが高い」が挙げられています。

◇次号は「外国人を雇用して良かった点」と「今後の外国人の採用計画」を予定



インタビュー

変革期の経営ビジョン

人に投資することがいい“未来”をつくる

有限会社 美倉
代表取締役社長　倉島正光さま

●設立の経緯から伺います…

父が権堂アーケードにて「レストラン美倉」を出店したのが昭和42年。その後、美倉グループでの事業を展開。昭和49年「ろばた焼びくら」長野店を開店しました。この店は県下の「ろばた焼店」ブームの先駆けとなりました。現在「美山亭」がある場所は、父が祖父から引き継いだ土地で、当初はスポーツジム等を造る計画もあり、アメリカまで視察に行ったそうです。最終的には眺望の良い松林を生かす道を模索し、平成４年９月「美山亭」をオープンしました。当時、私は大学生でした。

「美山亭」は県内の一般客と商用接待、それに県外からの旅行者をターゲットに、季節ごとに来てもらう設定で、しゃぶしゃぶと季節の会石料理を提供する構想としました。

「欅屋びくら」は平成９年12月に長野駅前のウエストプラザ長野ビルにオープン。当時は長野オリンピックや新幹線効果で人やお金が動く時代でした。私はアメリカに留学中でしたが、商売がやりたくて帰国、準備室長・店長として開設・運営にあたりました。

当時、ビルの最上階の大型居酒屋が全国で流行り始めていた頃で、首都圏など全国に視察に行きました。空気感のいい所で飲食ができれば受けるのではないか、「サラリーマンがジーンズ姿で来て１人４千円くらいで」というコンセプトが大当たりしたのだと思います。

●社長になられた経緯について…

私が30歳、父が58歳の時に「やってみろ」と言われて継承しました。祖父の時代から「決断力は若い時に身につける」が方針で、私が長野に戻った頃、父と酒を飲めば「トップが死ぬまで社長をやれば、専務が受け継いだ時は60・70歳になってしまい、決断力がなくなる」そういう人を沢山見てきた、と聞かされていました。

父が真面目に経営をしてきたから、“会社が回っている”と感じていましたので、30歳を区切りに社長を引き継いだわけです。

「欅屋びくら」は父が社長の時代から二人でやってきましたが、“自分だけでやりたい”ことは何かを考え、炉端焼き店「いぶし銀」をスタートしました。少し大人の店をベースに「サラリーマンが２人で、どこにもあるチェーン店ではなく、“美味しい物食べよう”という時に、価格は1人５千円でお釣りがくる」がコンセプトです。「手づくりの料理と大人の雰囲気、少し高級感がある旬で粋な居酒屋」を表現しました。

●三店舗の変遷について…

「美山亭」は、バブル崩壊後も建築関係を中心に需要は割とありました。しかし、リーマンショックで企業利用が減少しました。そこで“個人”にフォーカスしていくわけです。

ご家族で美味しい食事をしたいとか、きちんとした場所でお祝いや法事をしたいなど、風情や店の佇まいの良さをわかって頂けるお客様をターゲットにすることを考えました。ファストファッションの時代なので、安くて楽しく、それなりの高級感を求めるように、価値観が変わってきています。しかし“行きたい”と思わせるのは、やはり大変ですよね。お金をかけてきちんと風情を守り、出来るだけ値段は上げずにやるしかありません。我慢の商売じゃないですからね。お客様は、満足されると口コミで広めて頂けますから。

「いぶし銀」の現在は、“手作り居酒屋”で、手作りをモットーに、旬の食材と長野の食材を提供しています。個室が多く小接待で、少し大事な話があるが、大げさにならなくていいと、役員クラスの方・大人の方のご利用が多いですね。

今春、「欅屋びくら」をリニューアル。“素材”をテーマに本物の金箔貼りの「金の間」や「石の間」

「竹の間」「杉の間」等、インスタ映えする個室を増やしました。また大切なひとときの演出を考え、展望席をカップルシートにし好評です。

●近年の社会の変化をどのように捉え、経営に反映されていますか…

私の経営理念は、“地域一番店”を目指すことです。手づくりの料理と、お客様目線で空間づくりと接客をすることです。グランドメニューは、私が全て試作しチェックしています。

例えば、旬の魚の煮物や揚物を試作するとき、サラリーマンが月５万円のお小遣いから支払うのですから、680円で気分が良くなる料理を提供できるか、それをみんなで突き詰めていますね。

ただ“価格競争”はしません。チェーン店と仕入が全然違うので勝てません。手づくりで美味しいものがあるというお店にしたいのです。本物志向で美味しい物を出すということです。

●インバウンドについて…

インバウンドは、長野はここ数年多くなり、アジア系の方が増えましたよね。「欅屋びくら」は目立つビルなので、ぷらぷらと来る方が多いです。

英語のメニューは常に置いてありますが、基本的には日本人や地元の人をターゲットにやっていれば、外国人は自然について来ると思い、長野のびくらの料理とサービスをそのまま提供しています。それが彼らの旅行の思い出になりますから。

●働き手・働き方の問題についての対応は…

一般の居酒屋チェーン店では１店舗に正社員は一人、二人ですが、うちの正社員比率はほぼ５割、厨房においては8・９割と高くなっています。

樹齢380年の欅（鬼無里のけやき）がシンボルの「欅屋びくら」店内

とにかく人がいないから、求人をしながら人を育て、来た人を辞めさせず、給料を出来るだけ支給しています。お金をかけて技術者を雇い、フロアも厨房も正社員比率を上げています。人件費はかけるしかないのです。人に投資するのが一番の“未来”じゃないですかね。人さえいれば店も出せます。優秀な店長・料理長が一人いればすぐ店を出せます。私はそのノウハウを持っていると思います。

●今後の方針などをお聞かせください…

今は決してお店を大きくすることではなく、“強い会社”要は経常利益の高い会社を目指すことですよね。お客様に求められる店づくりで、利益が出ればいいのではないですか。

だから、今のお店をもっとブラッシュアップして、そこでやる気のある人材を育てることです。いい出会いがあれば、新しいお店をやりたいですよね。常にやりたいお店のプランが頭の中に二つくらいあります。人材がいない問題に対して、慌てても何も問題は解決しません。課題を明確にすることではないでしょうか。

●事業の概要

設　立	1967（昭42）年
資本金	3,010万円
代　表	倉島　正光
従業員	80名（男40・女32）パートを含む
業　務	飲食業
事業所	長野市上松3-6-35
ＵＲＬ	http://www.miyamatei.com http://www.bikura.com http://www.ibushigin-robata.com

●沿革

1967（昭和42）年	㈲レストラン美倉を設立
1974（昭和49）年	「ろばた焼びくら」長野店オープン
1977（昭和52）年	「ろばた焼びくら」七瀬店オープン
1982（昭和57）年	「美麗華飯店」オープン
1984（昭和59）年	㈲美倉に社名変更
1992（平成４）年	「美山亭」オープン
1997（平成９）年	「欅屋びくら」オープン
2002（平成14）年	倉島正光が社長に就任
2008（平成20）年	「いぶし銀」オープン
2019（平成31）年	「欅屋びくら」リニューアル

北信濃 江戸時代の風景

(57) 石堂

長野郷土史研究会会長
小林　一郎

石堂田んぼ

本年度は、弘化４年(1847)に起こった善光寺地震を記録した『地震後世俗語之種』(国立国会図書館本)の挿絵を用いています。

下の絵は、右上に「従石堂田甫善光寺市街見上ル之畧図」と書いてあります。「石堂田甫より善光寺市街見上るの略図」と読みます。「石堂」は現在の長野市北石堂町・南石堂町・末広町ですが、江戸時代は北石堂の北国街道(中央通り)沿いに家が建ち並んでいるのみで、一帯は「石堂田んぼ」と呼ばれる水田地帯だったのです。この石堂田んぼと栗田村との境に明治21年(1888)に長野駅が開業し、以後石堂は長野市の玄関口として発展しました。

絵を読む

この絵では右下から左上に向かって北国街道(現在の中央通り)が続いており、その先には善光寺があります。門前町に幟や吹き流しが描かれているのは、善光寺で御開帳が行われているからです。弘化４年(1847)３月24日に起こった善光寺地震は、御開帳の最中でした。この絵は地震直前のありさまを描いているのです。

絵の中央左に一対の石灯籠(常夜灯)が描かれていて、その先に人家が建ち並んでいるのが見えます。左右に「御休所」と書かれた看板がありますから、両側とも旅人向けの茶屋が並んでいるようです。石灯籠の手前は、右側や左下に人家がありますが、街道沿いにまばらにあるだけです。このように街道の左右に石灯籠が置かれ、善光寺門前町の入口を示していたのです。

この石灯籠は、長野駅と中央通りを結んでいる二線路通りの、中央通り側の出口付近にありました。明治21年(1888)に長野駅が開業すると、駅と北国街道を結ぶ２本の道(一線路と二線路)が新設されました。一線路は、駅と北国街道とを最短で

「石堂田甫より善光寺市街見上るの略図」(国立国会図書館蔵『地震後世俗語之種』より)

結ぶ末広町です。二線路は、駅と市街地の入口を直結する道だったのです。

『地震後世俗語之種』の原本（『善光寺大地震図会』）によれば、右に描かれた家には右側に水車が設置されています。俵を積んだ馬が描かれているのは、水車で精米や製粉をするために米などを運んでいるのでしょう。現在の中央通りの二線路通り入口の交差点付近は、暗渠になっているので水路が見えませんが、西から東に向かって古川が流れています。現在の古川はこの交差点で南に折れ、中央通りの東端に沿って末広町交差点方面に流れています。

現在の中央通りの二線路通り入口交差点付近

しかし大正時代まで、古川は二線路通り入口交差点から二線路通りに入り、すぐ右に入って千石街方面に流れていました。この絵では古川が見えませんが、古川は左（西）から来て２つの常夜灯の手前を流れ、右手の家（水車小屋）の裏を回り込んで、右下に向かって流れているはずです。水車はこの古川の流れを利用しているのです。

善光寺の二の石灯籠

この絵に描かれた一対の石灯籠は、中央通りの二線路通り入口交差点付近の東西両側にあったはずですが、現在はその地点にありません。

戸隠の一の鳥居が飯綱高原にあるように、大きな神社では一の鳥居が神社とかなり離れた位置にありました。寺院では鳥居に当たるのが常夜灯の石灯籠で、善光寺の場合は一の石灯籠は丹波島の渡しの北側（現在の丹波島橋北詰）にありました。二の石灯籠がこの絵に描かれた石灯籠なのです。

この一対の石灯籠は、現在北石堂町のかるかや山西光寺の本堂前にある一対の石灯籠だと考えられます。それらの正面には、「如来常夜燈」の文字が刻まれています。この「如来」は善光寺如来のことで、善光寺の常夜灯であることを示しています。これは文政13年（1830）に権堂の藤屋祐三郎によって寄進された石灯籠です。祐三郎は水茶屋を経営する権堂の有力者でしたが、父親が六十六部（回国する修行者）だったからか、自身も信心深く、他でも石仏などを寄進しています。

「石堂」という地名

「石堂」という地名は、石堂丸（石童丸）に由来すると言われています。「刈萱道心と石童丸」の物語は、かるかや山西光寺の開創にまつわる話として、現在も同寺で２幅の絵伝を用いて絵解きが行われています。これは中世から説経節とよばれる芸能で語られた古い物語で、全国的に知られていました。

「石堂」の地名については別の説もあります。西光寺の境内には、刈萱道心と石童丸の墓である古い石造の多層塔があります。これが「石塔（いしとう）」と呼ばれ、石堂という地名の起こりとなったというのです。どちらにせよ、かるかや山西光寺が地名の由来であることに変わりはありません。

６月号は「御開帳でにぎわう善光寺境内」の予定です。

外国人労働者受け入れ ② 生活者

●外国人労働者が増えると「よくない」理由

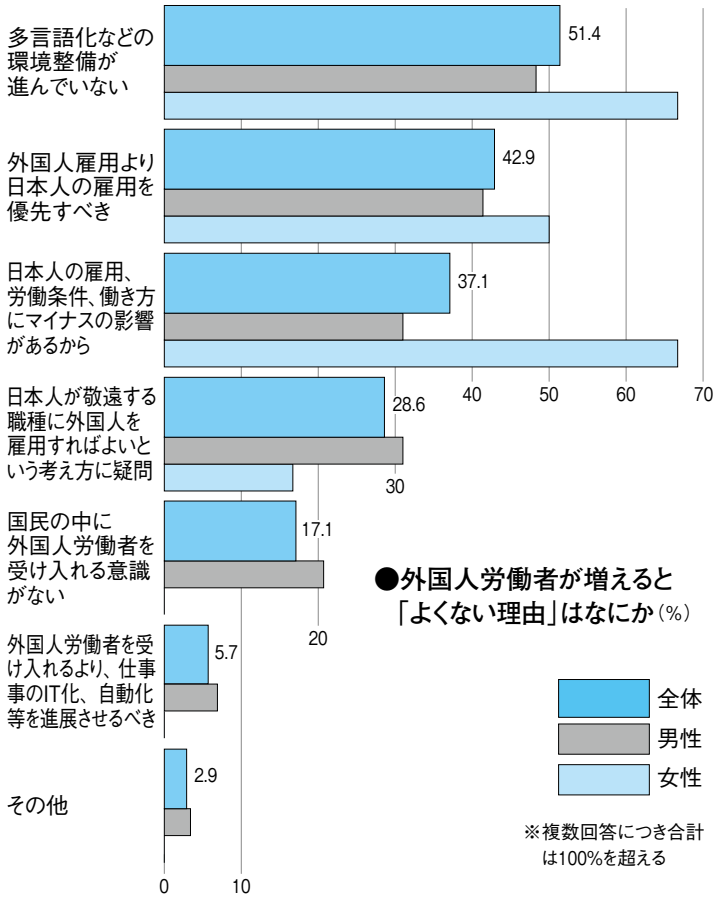
「多言語化などの環境が不整備」51%
「外国人より日本人の雇用を優先すべき」43%
「日本人の雇用･労働条件･働き方にマイナスの影響」37%

前問で、**外国人労働者が増えると「よくない」**と答えた人に、その理由を聞きました。

１位「多言語化などの環境整備が進んでいない」(51%)、２位「外国人雇用より日本人の雇用を優先すべき」(43%)、３位「日本人の雇用・労働条件・働き方にマイナスの影響があるから」(37%)、４位「日本人が敬遠する職種に外国人を雇用すればよいという考え方に疑問」(29%)、５位「国民の中に外国人労働者を受け入れる意識がない」(17%)までが２ケタとなりました。

男女別では、女性で１位の項目と３位の項目がともに67%と高く、４位の項目が17%、５位の項目が０%と低くなっています。**世代別**では、10～20代で１位の項目が100%、２・３・４位の項目が50%と高くなっています。

〈当金庫・31年3月調査〉



●みなさまの経営相談のご案内［6月］

(注)上の店名は開催場所、下の(　)内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午前	午後	開催日		午前	午後
6月 4日	火	若槻支店(城北支店)	東長野支店(柳原支店)	6月 17日	月	石堂支店(伊勢宮支店)	七瀬支店(南支店)
6日	木	稲荷山支店(屋代支店)	上山田支店(戸倉支店･坂城支店)	18日	火	篠ノ井支店(川柳支店)	松代支店(更北支店)
7日	金	須坂支店(墨坂支店･太子町支店)	豊野支店	21日	金	大門町支店(桜枝町支店)	飯綱支店
11日	火	中野支店(小布施支店)	山ノ内支店(飯山支店)	24日	月	本店営業部	古里支店(吉田支店)
13日	木	権堂支店(善光寺下支店)	川中島支店(川中島駅前支店)	27日	木	本部	
14日	金	長池支店(大豆島支店)		28日	金	本部	

●６月の「しんきん事業相談会」は６月５日㈬です

長野信用金庫　総合企画部
本店　〒380-8686　長野市居町 133-1　TEL 026-228-0221㈹
長野信用金庫　URL http://www.nagano-shinkin.jp/